

平成 18 年 7 月 28 日

各位

会社名 株式会社松屋フーズ
代表者名 代表取締役社長 瓦葺 利夫
(コード番号 9887 東証第 1 部)
お問合せ先 経営管理部長 佐藤 雅敏
(TEL 03 - 3904 - 1121)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、平成 18 年 5 月 10 日の決算発表時に公表いたしました業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 連結業績予想数値の修正
(1) 中間期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 18 年 9 月 30 日)

(単位: 百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 30,310 | 1,570 | 380 |
| 今回修正予想(B) | 28,820 | 550 | 400 |
| 増減額(B - A) | 1,490 | 1,020 | 780 |
| 増減率(%) | 4.9 | 65.0 | - |
| (ご参考: 前期中間期実績) 平成 18 年 3 月期中間期実績 | 28,266 | 1,686 | 678 |

- (2) 通期(平成 18 年 4 月 1 日～平成 19 年 3 月 31 日)

(単位: 百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|-------------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 62,980 | 4,160 | 1,520 |
| 今回修正予想(B) | 60,600 | 2,620 | 680 |
| 増減額(B - A) | 2,380 | 1,540 | 840 |
| 増減率(%) | 3.8 | 37.0 | 55.3 |
| (ご参考: 前期実績) 平成 18 年 3 月期実績 | 57,877 | 3,674 | 1,315 |

2. 平成19年3月期 個別業績予想数値の修正

(1) 中間期(平成18年4月1日～平成18年9月30日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 29,750 | 1,560 | 420 |
| 今回修正予想(B) | 28,390 | 550 | 350 |
| 増減額(B-A) | 1,360 | 1,010 | 770 |
| 増減率(%) | 4.6 | 64.7 | - |
| (ご参考:前期中間期実績) 平成18年3月期中間期実績 | 28,182 | 1,787 | 792 |

(2) 通期(平成18年4月1日～平成19年3月31日)

(単位:百万円、%)

| | 売上高 | 経常利益 | 当期純利益 |
|--------------------------|--------|-------|-------|
| 前回発表予想(A) | 61,900 | 4,100 | 1,520 |
| 今回修正予想(B) | 59,720 | 2,600 | 750 |
| 増減額(B-A) | 2,180 | 1,500 | 770 |
| 増減率(%) | 3.5 | 36.6 | 50.7 |
| (ご参考:前期実績) 平成18年3月期実績 | 57,693 | 3,699 | 1,363 |

3. 修正理由(連結・個別ともに)

- (1) 売上高につきましては、第1四半期において『主力商品「牛めし」の食材変更』『自社精米工場による無洗米の導入』等による調理手順の大幅な変更の影響で、スムーズな店舗オペレーションに一部支障をきたした結果、客席回転数の低下等により入客数が減少し、当初計画を下回って推移いたしております。
- (2) 売上原価率につきましては、当初計画通りに推移いたしております。
- (3) 販売費及び一般管理費につきましては、売上計画の未達に対応すべく削減に取り組んでおりますが、売上高計画の未達分を吸収するには至っておらず、売上高に対する比率(以下、販管費率)は、当初計画を上回って推移いたしております。
- (4) 業績予想修正の主要因であります売上高の低迷につきましては、前述いたしました(1)の状況を改善すべく様々な対策を講じたことにより、足元の売上高は回復基調にあります。また、売上高の回復に伴い、販管費率も改善基調にあります。
- (5) 上記の通り、業績は回復基調にありますが、第1四半期の業績状況を踏まえ、中間期、通期ともに売上高、経常利益、当期純利益の前回発表予想を修正するものであります。

なお、店舗撤退・改装は予定通り推進しており、それに伴う損失、及び減損損失等の特別損失の計上はほぼ当初計画通りです。よって、中間期における当期純利益は赤字となりますが、通期におきましては黒字となる見込みであります。

4. その他

平成19年3月期第1四半期の業績につきましては、現在、最終精査中であります。

なお、開示日は平成18年7月31日を予定いたしております。

以上